

# 家族でニコニコチャレンジ① 取り組みの様子



平成26年6月～7月実施

## ● 基本的な生活習慣の確立と自立心の育成をめざして！ ●

「家族でニコニコチャレンジ」第1回目の取り組みに関して、ご報告いただきました。

今回はお手伝いや登園の準備等のその他の項目よりも、基本的な生活習慣に着目して目標を設定したご家庭の割合が多く、生活の見直しの良いきっかけになったという声が聞かれました。

子どもを含めた家族とのコミュニケーションを多くすることで、テレビやゲームに頼らない生活、気持ちよい就寝・起床ができるようです。基盤をしっかり固め、それが自立心へ結びつくよう、今回の取り組みをいかしていただきたいと考えています。

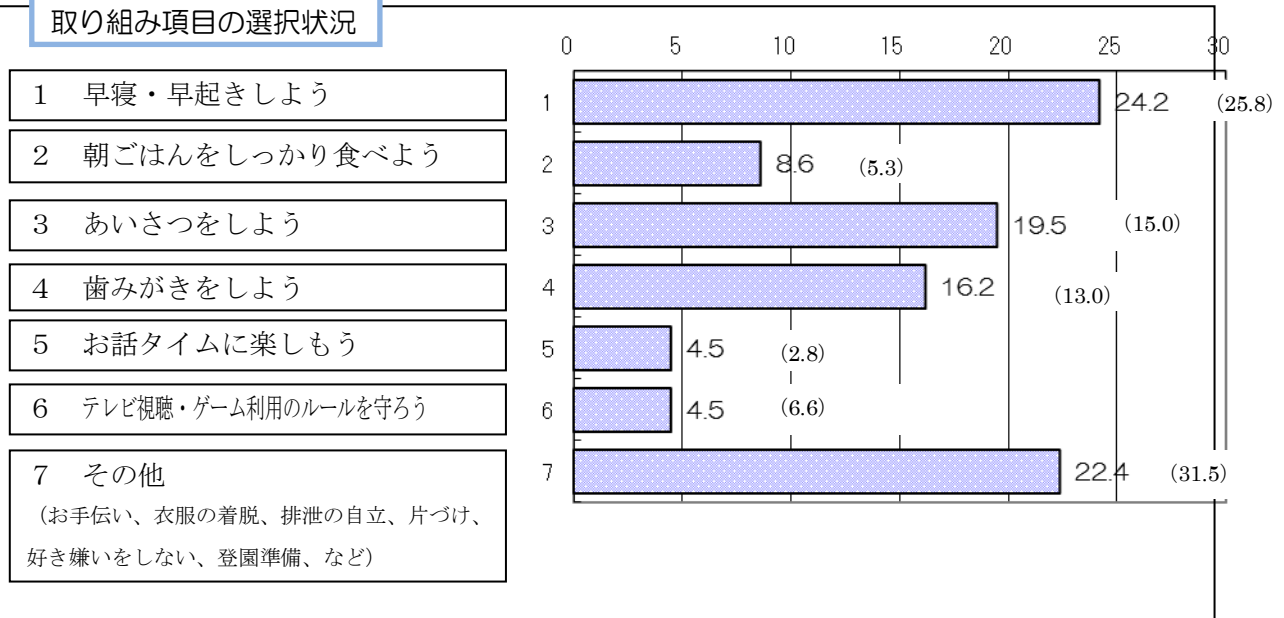
<取り組み状況>

集計協力園 47園 / 47園

回収率…97.1% (報告園の提出者数 / 報告園での配布者数)

( )内は、昨年度の結果

### 取り組み項目の選択状況



## 保護者からの感想等

### 《子どもの様子に関わる感想》

①いつも自分から話をはじめ、わからない言葉を質問することが多くなり、積極的になりました。人の気持ちがわかるようになり、心が大きく成長しました。家庭内のケンカの種も食べてくれ、皆を明るく楽しませてくれています。

②苦手な挨拶を自分で目標にすると決めて、えらいなと思っていました。家ではもちろん家以外でも自分で意識して頑張っているなど感じる場面がたくさん見られました。

③初めは頑張ったが、後半続かなかった。

④テレビを見ないことで家族の会話が増えたり子どもを怒ったりすることが少なくなりました。

⑤自分から時計を気にして「寝る時間だ」と言って行動するようになり成長を感じました。

⑥楽しくチャレンジできたのでよかったです。早起すると朝ごはんもしっかり食べられました。

⑦自分から「歯磨きしないと虫歯になっちゃうよ」と歯磨きをしたり思い出して意欲的に取り組むことができました。

⑧「早起き」の目標に対し、頑張ったおかげで、寝るのも早くなりました。とても頑張りました。

⑨起こされなくても自分で起きてできる日が増えた。

⑩自分で気づけて頑張っていました。1時間は短いかないと思いましたが、季節的にも外で遊んだり自分で室内遊びを考えてテレビに頼らない努力をされていて成長したなと感じました。

#### 《家族の関わり方に関する感想》

①普段ゆっくりと話を聞くことができずに過ごしていました。親のチャレンジでもありました。聞いても面倒くさがり、なかなか話してくれないことも多いのですが、意識して話してくれたと思います。自分の気持ちを表現（言葉で）できるようになってくれるとうれしいです。

②夜は時間に寝そうにないときは絵本を何冊か寝床に持っていき、読んであげることで、9時に寝られるようにしました。（早寝早起き）

③促さなくてもできているだろうと思っていたが、ほかの兄弟に紛れて本人はしていなかったことに気付いた。ほかにもそのようなことがあるかもしれないので気を付けてみたい。

### 園からの感想等

#### 《親子で取り組むことの効果に関わる感想》

①保護者にとってはいろいろな気づきを得るきっかけになっていると思います。口で子どもに言うだけでなく、親子で一緒に「どうだったかな」と振り返ることが良い方向につながっているのかもしれない。

④親子で目標を持って取り組むことはよいことだと思った。親が変わらなければ子も変わらないという感想があり、保護者にとっても子育てについて見直す機会となった方が多かったように思われる。

②家庭で子どもと関わる時間が多くなった。

③子どもたちはとても意欲的に取り組んでいる様子がうかがえた。そして何より、ニコニコチャレンジを通して、家族みんなが1つのことに子どもと一緒に意識して取り組み「家族のふれあい」「会話」「子どもに向けた目を持たたこと」が大きいと感じた。

⑤子ども同士で話題に出したり、「ニコニコマークをもらった」や「あと〇個で終わる」など毎日のように教えてくれ、積極的に取り組んでいる様子が見られました。なかには「全然マークをつけてくれない」と口にする子どもおり、各家庭の取り組み方の違いを感じさせられた。

### 今回の取り組み結果と次回の取り組みに向けて

#### ☆ 今回の取り組み結果 …各園の報告から… ☆

- ・今回から、年少児、年中児についても可能であれば取り組んでみることを提案している。年少児は5園33名、年中児は24園258名の取り組みがあった。（取り組み状況の報告は年長児のみ）
- ・基本的な生活習慣が確立することにより、活動への意欲が高まり、活動内容や行動範囲が広がる。このことにより、次のステップでもある自立心が芽生え、ここに目標を設定する家庭も多くあった。年少児、年中児にも取り組みを広げた園から、年少児、年中児では基本的な生活習慣を、年長児では自立心を促す目標にしている傾向にあるという報告があった。
- ・園では、懇談会、保育参観、個別面談等の機会に取り組みや目標設定について話題にしたり、園便り、クラス便り等で取り組み状況を掲載したりし、家庭へ働きかけている。
- ・チャレンジカードを掲示したり、チャレンジ内容を子どもたち同士で発表する機会を設けたり、取り組み期間外でもチャレンジカードや独自のカードで基本的な生活習慣の確立に取り組んでいる園もある。

#### ☆ 次回の取組みに向けて ☆

- ・ 基本的な生活習慣の必要性の確認、保護者の感想など、ニコニコガイドや広報「はなまき」、合同園長会議などでニコニコチャレンジの取り組み結果を周知する。
- ・ 園での取り組みの工夫を提示することで、園から家庭への働きかけを促す。